

中国医药包装协会

2016 輸液&包装発展フォーラム（2016FIPD）開催のご案内

「2016 年輸液&包装発展フォーラム（FIPD）」は、「第十三回五年計画」の元年 2016 年 9 月に青島にて開催致します。

「輸液&包装発展フォーラム」が 2006 年から発足して、二年ごとに一回を開催され、今年も「技術の最先端、完全な産業チェーン、国際との同期化」の精髓を踏襲して、業界に新しいプラットフォームを構築しようとしております。

開催期間： 9月7日（水）受付、9月8日（木）・9月9日（金）会議

開催場所： 青島・シャングリラホテル

主催： 中国医薬包装協会

問い合わせ先： 馬晶 韓瀟 李拓 TEL：010-62267180

E-mail： majing@cnppa.org, hanxiao@cnppa.org, lituo@cnppa.org

参加費用： （資料代、9月8日昼食・夕食、9月9日昼食 込み）

参加ご希望の方は、次の方法でお申し込みください。なお、事前申し込みの場合（納付ベース）

会員お一人様 2500 元、非会員お一人様 3000 元となります。

- 1) オンライン申し込み：協会ウェブサイト（www.cnppa.org）にて申し込みと支払い、又は協会口座へ振込みをご利用ください。（8月20日前までに口座へ入金する場合は事前申し込みだと見なし、入金時間を準にしますので、ご了承くださいませ）
- 2) 現場申し込み（費用納付）：会員 2800 元/様、非会員 3300 元/様

宿泊案内： 費用について参加者自己負担となります。

フォーラムが統一手配ホテルは青島・シャングリラホテルで御座います。

契約価格： ツインルーム/部屋：600 元/泊

予約方法： 協会ウェブサイト（www.cnppa.org）トップページ ⇒【会員情報】

⇒2016 輸液&包装発展フォーラム（FIPD）⇒【会議詳細】

⇒ホテル予約リンク⇒オンライン宿泊予約

フォーラム・キーワード

- 1、政策解説 医療、医薬新政が産業発展に対する影響について懇談
- 2、情報共用 基準化作業の整理、臨床施設と工業産業の疎通メカニズムなど

3、技術交流 様々な方式を採用して、新メディアを十分に利用してオンラインとオフラインで交流を行なう。

4、深度対話 国内外の専門家が集まって、注目される話題や重点的な事件に関して深く交流

同時に、フォーラムには革新展示コートを設置しております。国内外の革新製品や依存性高まる解決方案などを集めており、講演テーマに合わせて、重点的に注射剤、輸液装置、輸液用包装材料と容器、設備、助剤と添加剤、部品、消耗品などを展示しております。

フォーラムピント

- 国家食品薬品監督管理総局（CFDA）より関連審査政策の解説；
- 国家関連部署より医薬工業「十三五」（中国第十三回目五年計画）発展企画を論述し、医薬業を展望する。
- 中国薬局方（CHP）、米国薬局方（USP）から医薬品包装材料と医薬用助剤に関する技術要件の解析；
- 国内外のトップ専門家により、医薬品（注射剤、生物製品）と包装システムとの相容性研究及び毒理学研究についての解決方法を分かち合う；
- 臨床薬学分野のトップ専門家により、合理的に注射剤の使用や臨床薬物の安全使用の促進などを呼びかける
- 医薬用助剤の権威者により、注射剤用の機能性がある助剤が医薬品の品質に対する影響についての紹介；
- シニア専門家が、医薬（特に注射剤）業界の現状や、産業発展方向についての分析；
- 権威専門家から腹膜透析液の包装システム、生物製剤の包装システム及び投与装置等に関することを語り合う；
- 革新技術（製品）ショー

フォーラムにて主な議題（含むがこれに限らない）

類別	主な内容
政策解読	医薬品包装材料及び医薬用助剤の関連審査制度
	医薬工業「十三五」計画及び重点的な発展分野
	入札購買の際に、注射剤包装の配慮
	2020 版中国薬局方が展開しようとする業務
	米国薬局方の最新状況、USP 関連内容研修会
	注射剤用の機能性がある助剤及び医薬品の品質に対する影響と作用
臨床応用	注射剤の合理的な使用とリスク管理
	臨床使用の際に、薬物投与と包装材料との相容性研究
技術交流	注射剤製品、生物製剤は包装システムとの相容性研究及び実例分析
	毒理学研究及び評価
	インスリンの品質管理
	低温流通包装のキーになる技術難点
	プリフィルトシーリングについて
	ガラス製品の耐水性研究と応用
	生物技術分野に用いるフィルム材料の解決方法
	生物製剤に関する包装システムを選択する原則と方法
	ブチルゴムの最新発展状況
	抵抗菌、滅菌通気性材料の応用
市場部分	医薬業の全体状況及び輸液産業の状況について
	インスリンの市場状況
革新部分	眼科薬について
	バリア製品の新応用
	新型測量システム
	密閉性製造・隔離化技術

2016FIPD 講演者リスト（含むがこれに限らない）

講演来賓の構成	講演来賓所属会社
政策研究制定専門家	国食品医薬品監督管理総局（確認済み）
	工信部（中華人民共和国工業と情報化部）（確認待ち）
	入札仕入れ部門（確認待ち）
	医薬品審査センター（確認済み）
	中国薬局方委員会（確認済み）
	アメリカ薬局方委員会（確認済み）
	中国薬科大学教授（確認済み）
臨床応用専門家	臨床機構薬剤師と医師専門家（確認待ち）
技術研究専門家	米国イーライリリー社（確認済み）
	米国国家衛生基金会 NSF（確認済み）
	バクスター社（Baxter）（確認済み）
	中信国健生物技術研究院（確認済み）
	シールドエアー社（Sealed Air）（確認済み）
	ショット社（SCHOTT）（確認済み）
	ompi（確認済み）
	日本電気硝子株式会社 NEG（確認済み）
	ウェスト社（West）（確認済み）
	エクソンモービル社（Exxon Mobil）（確認済み）
	デュポン社（DuPont）（確認済み）
	クラリアント社（Clariant）（確認済み）
	レノリット社（Renolit）（確認済み）
株式会社 細川洋行（確認済み）	
市場分析専門家	華潤双鶴製薬社（確認済み）

2016FIPD サブフォーラム

日時	サブフォーラム
9月9日	中米相容性研究教育 (CNPPA と USP 米国薬局方委員会包装、貯蔵運輸専門委員会が共同主催)
	腹膜透析液包装システムサブフォーラム
	生物製剤包装システム&薬剤投与装置サブフォーラム
	イノベーション技術サブフォーラム

2016FIPD 同期活動

会議
医薬品及び包装材料相容性研究についての研修（非公開会議）
粉液ダブルバック注射剤製品中日座談会（人数限定オープン）
「浸出物と可抽出物マニュアル」粗捜しコンクール授賞式
輸液医薬品用包装専門委員会交流会
「医薬包装&臨床投与安全」雑誌発行式典



前回フォーラム参会統計

参会者統計

今回の参会者が薬品包装材料・助剤メーカー、薬品包装材料メーカー、医薬品メーカー、測定機構及び政府機関、グループ協会、機械設備メーカー、他を含み共に7ジャンルがあり、参会者比率がそれぞれ12%、32%、36%、15%、1%、3%、1%である。(グラフ1をご覧ください)

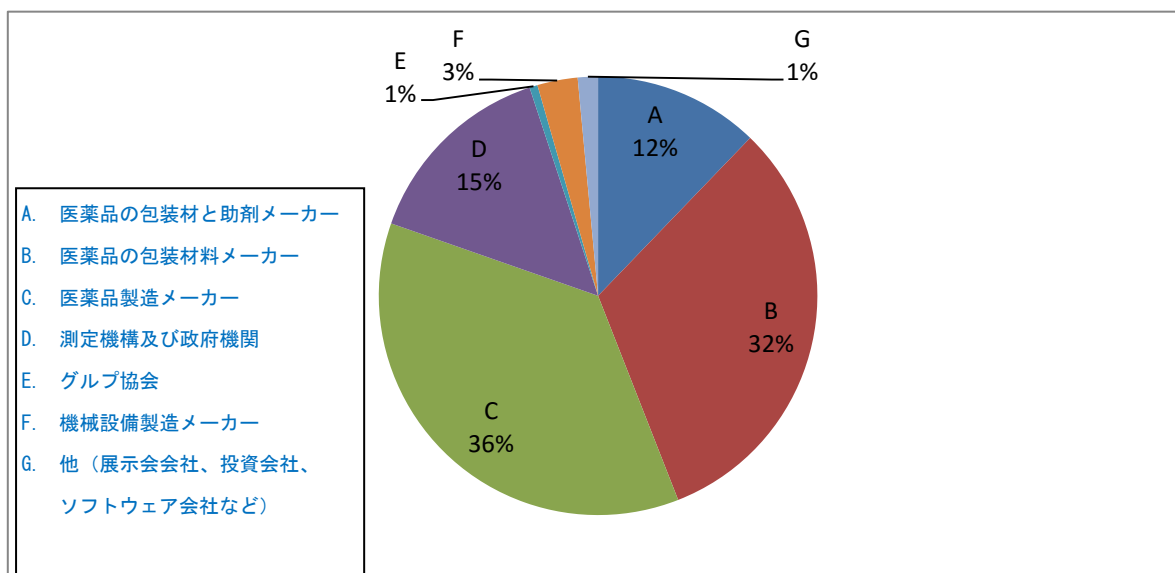


図1 各ジャンル参加者比例

講演分析

今回の論壇では総数23件の講座を設けてます。

2.1 内容では政策篇(9篇、39%)、相容性の研究篇(5篇、22%)、生産技術篇(3篇、13%)と原料・補助原料篇(6篇、26%)に分けられます。図2にご参照ください。

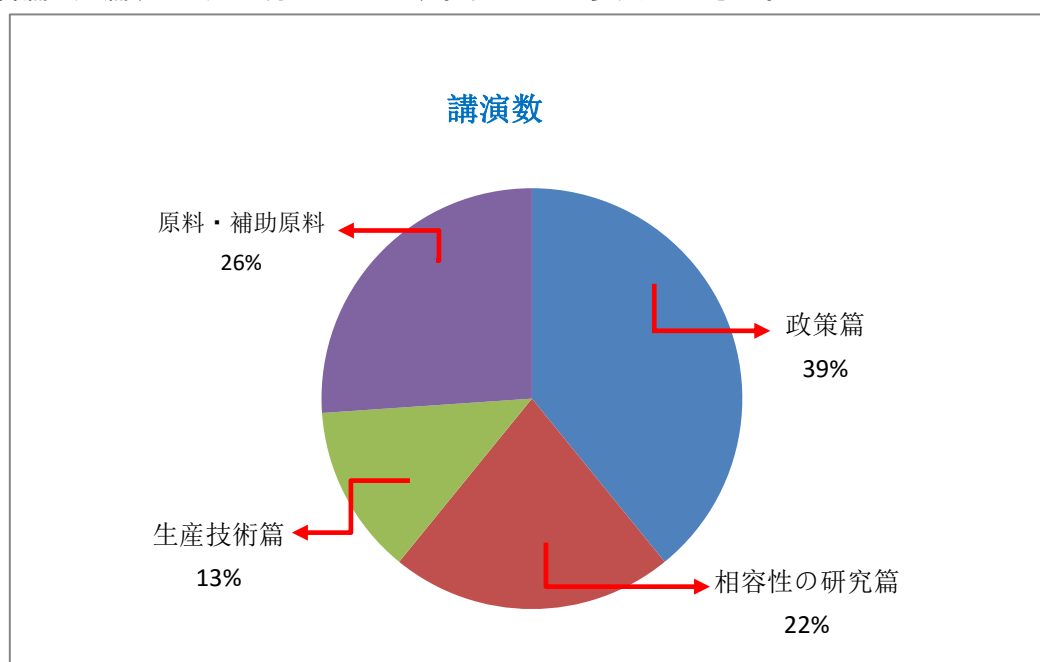


図2 講演内容比例

2.2 講演者達が従事した業種は図3の通りに政府機関及び研究機構（8人、35%）、医薬品製造メーカー（8人、35%）、医薬包装材料メーカー（5人、22%）、医薬品包装材料・助剤メーカー（2人、8%）であります。

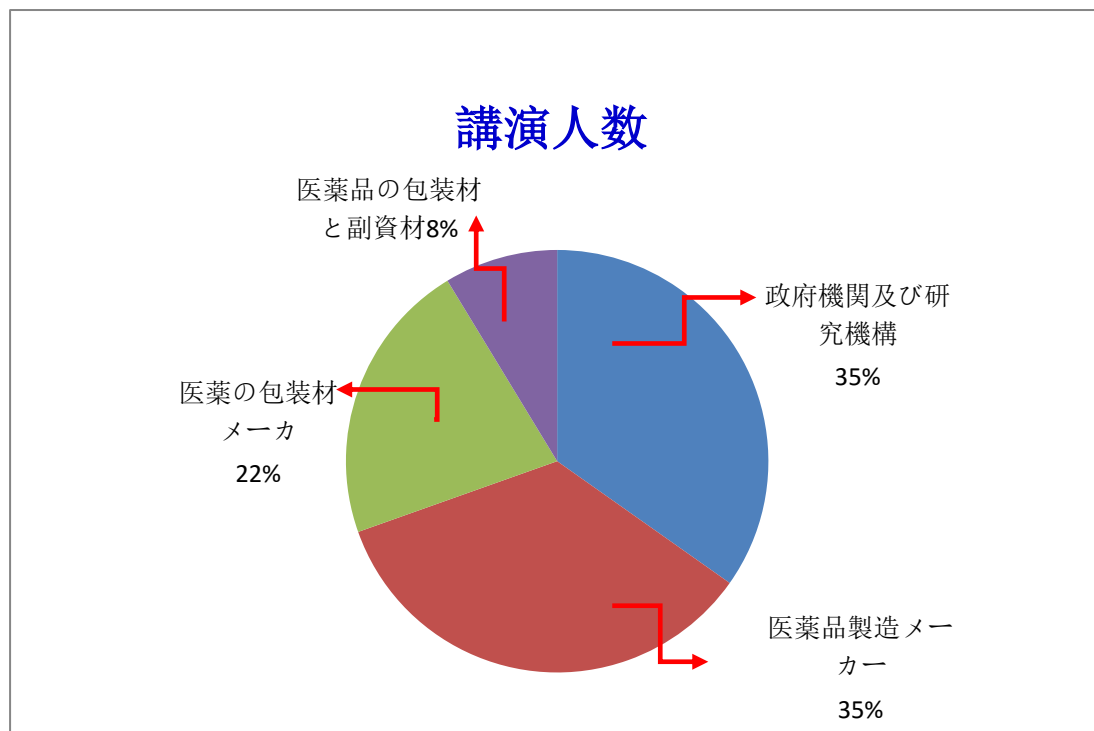


図3 講演者業種の比例

備考：上記内容はフォーラム現場を準じ、また、続々と更新しております。詳細は協会の公式サイト www.cnppa.org の「会議情報」と公式アカウント [wx_cnppa](https://twitter.com/wx_cnppa) をご覧になってください。